

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-80399

(43)公開日 平成5年(1993)11月2日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

A 4 7 K 13/00

13/14

審査請求 未請求 請求項の数2(全2頁)

(21)出願番号 実開平4-33309

(22)出願日 平成4年(1992)4月6日

(71)出願人 000170886

黒木 一春

神奈川県座間市入谷4-2900-6

(72)考案者 黒木 一春

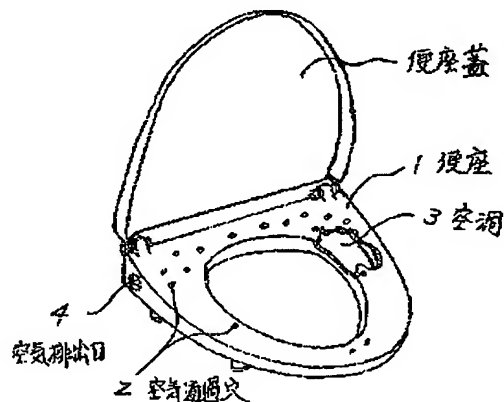
神奈川県座間市入谷4丁目2900番地の6フ
ラット201号

(54)【考案の名称】 便座シート安定敷設装置付き便座及び便座シート

(57)【要約】

【目的】 便座に便座シートを敷設する際、脱衣等の影響で便座シートが便器内外に落下するのを防止して、安定に敷設できる便座及び便座シートとする。

【構成】 空洞を有する構造の便座の表面に複数個の空気通過穴を空け、便座側部又は裏側の一部に空気排出口を設けて空洞内の空気を排出することで、便座表面の便座シートが便座に密着すると同時に、便座シートの先端内側部分に前垂れを設けた形状に成型製作された便座シートの前垂れの先端の一部が、便器内前底部に接触又は密着することで安定した便座シート敷設が、便座及び便座シートの組み合わせにより行われる。



(2)

実開平5-80399

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 空洞(3)を有する構造の便座(1)の表面に複数個の空気通過穴(2)を空け、便座(1)側部又は裏側の一部に空気排出口(4)を設けた便座シート安定敷設装置付き便座

【請求項2】 便座(1)の形をした便座シート(5)の先端内側部分に前垂れ(6)を有する便座の形状に成型製作された便座シート。

【図面の簡単な説明】

【図1】 便座シートを敷設しない状態の便座の一部断面を示す斜視図である。

10

* 7 便器内の前底部

2

* 【図2】 便座シートを敷設した場合の便器を含めた便座の一部断面を示す側面図である

【図3】 便座シートの平面図である。

【符号の説明】

1 便座

2 空気通過穴

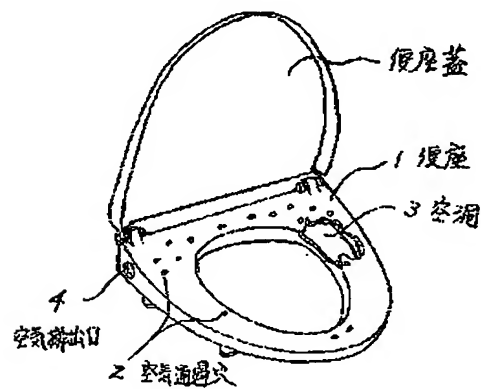
3 空洞

4 空気排出口

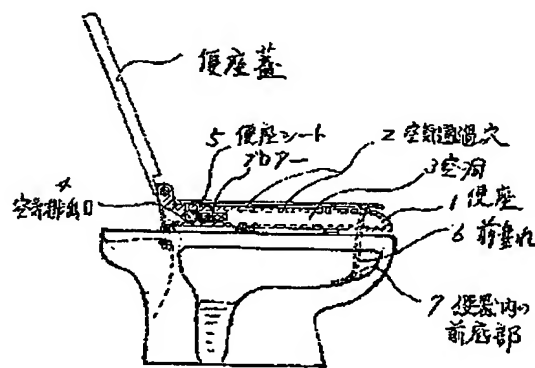
5 便座シート

6 前垂れ

【図1】



【図2】



【図3】



(3)

実開平5-80399

【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、便座シートを容易に使用し、又使用に際しては安定に敷設することが出来る便座及び便座シートに関するものである。

【0002】**【従来技術】**

従来便座シートを使用するに際して、折角便座に敷設した便座シートが、便器を使用するための体の動きや、脱衣等の動作の影響によって便器内外に落ちる等の不安定さがあつた。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

従来の便座で便座シートを使用するに際しては、体の動きや脱衣等の動作の影響によっても便座シートが便座から移動落下しない為には、片手で便座シートを押えた動作をとるより方法がないが、用便をする準備の段階においては片手を使う事は困難である。

本考案が解決しようとする課題は、便座に便座シートを敷設した後でも体の動きや脱衣等の動作によって、便座シートが何等影響を受けることなく、又使用者が何等手を施す事なく便座表面に安定に敷設状態を維持することができる便座及びこれに伴う便座シートを提供することである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

本考案に係る便座シート安定敷設装置付き便座及び便座シートは、以上のような課題を解決したもので、次のようなものである。

本考案に係る便座シート安定敷設装置付き便座は、便座1の表面に複数個の空気通過穴2を空け、便座1の側部又は裏側の一部に空気排出口4を設けた。一方便座シート5には、便座1の形の便座シート5の先端内側部分に前垂れ6を有する形に成型製作した。

【0005】

(4)

実開平5-80399

【作用、効果】

便座使用に際して、便座シート5を一枚取り出し便座1の表面に敷設するが、この時点では既に空洞3内部の空気を空気排出口4からブローアーを通して排出しているため、適当な排出量を選定することで、便座1の表面空気が空気通過穴2より空洞3内部に取り込まれる事となり、一枚の軽量の便座シート5は空気通過穴2に吸い込まれる形となって便座1の表面に密着し、体の動きや脱衣等の動作の影響によっても便座シート5は移動されることなく、使用以前に便器内外に落ちることはない。更に便座シート5に前垂れ6を設けてその長さを、前垂れ6の先端の一部分が便器内の前底部7に接触するように選定している。便器内底部は一般に殆ど乾く事なく多少の水気があるため、前垂れ6の先端の一部分が濡れて便器内の前底部7に接着するため、敷設されている便座シート5を間接的に固定化した形となり、敷設の安定化の効果を助長する結果となっている。

【0006】

【実施例】

この考案の便座シート安定敷設装置付き便座は、第1図に示すように、空洞3を有する便座1の表面に便座シート5敷設の安定化を図る為の空気通過穴2を複数個空け、便座1の側面又は裏側の一部に空洞3の内部空気を排出するための空気排出口4を設け、ブローアーによって空洞3の内部空気を排出するよう構成されているから、第2図に示すように、便座使用に際して便座蓋を開けると同時にブローアーのスイッチがONとなり、ブローアーが動作して空洞3内部の空気が空気排出口4から排出される結果、空気通過穴2を通して空洞3内部と便座表面域との気圧差が生じ、表面空気が空気通過穴2から空洞3内部に吸い込まれ、又空気排出口4から排出されるという繰り返しとなる。この空気排出量を適当に選定することで便座1の表面に敷設する便座シート5は空気通過穴2に吸い込まれる形となって便座1の表面に密着する。更に加えて便座シート5の前垂れ6の先端の一部分が便器内の前底部7に接着することで便座シート5は便座1の表面に密着固定化された事となり、体の動きや脱衣等の動作によっても移動落下という懸影響を受けることなく安定した便座シート5の敷設となる。